

第4回講演会

# 南北朝時代の石清水八幡宮文書から 南朝文書を中心に

講師

鍛代敏雄氏

東北福祉大学 教育学部 教授  
石清水八幡宮研究所 主任研究員

日時：2025年3月29日(土) 午後2時～4時

場所：松花堂美術館 講習室

参加費：300円(資料代) ☎075-981-0010

近年、南朝研究の進展が注目されています。これまで通説と見なされてきた史実が読み直され、物事や人物の歴史的評価の転換が促されています。また、「南北朝正閏」問題に関しても、近代史の大きな歴史課題として再検討が行われています。

私は、重要文化財「石清水八幡宮文書」の悉皆調査を約10年間続けてきました。そこで新たに知り得た史料情報をふまえて、あらためて南朝文書（南朝の天皇や公家・武家、かつ南朝の年号にかかわる文書）を分析したいと思います。たとえば、四條隆資卿が登場する嘉暦2年（1327）の新出文書、明治期から大正期に編纂された『大日本古文書』では不明とされた長慶天皇綸旨、史上はじめて社務職を補任した將軍家御教書などの紹介を含めて、石清水八幡宮と南朝、および幕府將軍家・室町殿の政策についてお話ししたいと思います。

(鍛代先生メッセージより)

申し込み

担当 鷹野 FAX：075-981-5896

「氏名」「電話(なるべく携帯番号)」を記入してください。

主催：四條隆資卿研究会

後援：八幡市・八幡市教育委員会 協力：石清水八幡宮・(一財)蟪螂山保存会

連絡先：事務局/代行 会員 藤田 ☎090-5251-4779

「八幡山上山下惣絵図」一部より